

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ

# 会報



会 長 函 師 義 孝  
 副 会 長 石 田 喜 克  
 幹 事 山 口 順 一  
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~  
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F  
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4  
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第 1788 回 平成 25 年 5 月 30 日 プログラム

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘        | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング   | 8. 各委員会報告  |
| 四つのテスト        | 9. 地区協議会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間      | 11. 点 鐘    |
| 5. 幹事報告       |            |
| 6. 出席報告       |            |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

5月の月間テーマ

次年度準備月間

本日の例会案内 \*100 万ドル

\*地区協議会報告

\*ポールハリスフェロー授賞式

次回例会 6月6日 (1789回)

\*月初めのセレモニー \*米山ランチ

\*クラブ協議会一次年度活動計画

## 第 1787 回 例会内容

### ■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。  
一週間のご無沙汰でございます。

今日は久しぶりに三原君が出席です。大変嬉しい事です。拍手をお願いします。

さて、5月18日の米沢上杉ロータリークラブ創立50周年記念式典に13名で出席して来ました。高鍋を迎える歓迎班に素晴らしい歓待を受けました。駅に車5台で迎えに来て頂き、ホテル前では前山会長と小泉幹事に迎えて頂きました。

先ず記念写真撮影、山にはまだ雪が残っている標高800の場所にある白布温泉の西屋旅館で温泉に入り、上杉家代々のお墓へ行きました。上杉謙信の墓を中心に右側が偶数代、左側が奇数代で、第9代の上杉鷹山の墓だけ花が差してありました。

式典当日の懇親会での出し物は、高鍋荒神さんの祭りでみこしかつぎで歌う「きやり」を練習2回でやりましたが、大変好評でした。

帰途の朝は、前山会長はじめ8名の方々に送って戴き、新幹線で米沢を後にしました。



本日は明倫賞の贈呈式です。NPO法人児湯高鍋ライフセービングスポーツクラブの皆さんおめでとうございませう。今後のご活躍を期待いたします。

今日もロータリーを楽しんで下さい。

### ■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

\*米沢上杉ロータリークラブより創立50周年のお礼と「50周年記念誌」祝辞掲載の原稿依頼。



### ☆高鍋ロータリークラブ明倫賞授賞式

NPO法人児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブ





社会奉仕委員長  
岩切 洋君

このたびは、わたしたちの地域活動に関するの賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

私たち児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブは、任意団体から始まり、NPO法人児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブを設立して以来、今日までの間、地域に少しでも役に立ちたいと日々、海をベースに地域活動に励んでまいりました。小さなことから活動をスタートとし、活動を続けることにより賛同してくれる先輩方や仲間や家族が支えとなり、小さなことが少しずつではありますが、一步一步、大きなことへと繋がっていきました。「人のために行うボランティア活動」響きはすごくよいですが、活動を継続していくことは大変難しいのが現状でもありました。地域のために少しでも役に立ちたいという思いとは別に、毎日が苦悩のなかでの活動でもありました。それでも、少しずつ前へ前へと進むと、一本の小さな光が見えるようになりました。小さな光、それは一人のひととの出会いでした。人と人との出会いは島と島をつなぐ橋のようで、わたしたちの思いと出会った人との思いに橋ができ、その橋は、また次の人と人をつなぐ橋になりました。こうした出会いの中で地域に少しでも役に立てることが見えてくるようになりました。

それが、今、わたしたちが最も力をいれている高齢者の生きがいと居場所づくりでした。高齢化社会が進むなか、問題とされている高齢者の孤独死や退職されて外出しなくなるにより基礎体力が低下し、病弱になり病院へ通院する人の増加による経済圧迫、運動能力の低下により身体活動を支える運動機能も低下し要介護者が増加することでの経済圧迫など、近年の社会変化がもたらす影響により高齢者を重視した経済へとなり、未来の財産でもある子供たちへの教育にお金がまわらなくなるという悪循環になっているのが現状でもありました。それを改善する目的とした活動が、高齢者教室だったのです。

この高齢者教室はサーフィンやノルディックウォーキングをベースに高齢者が外出し、趣味を持ち、多世代のかたとのコミュニケーションをとり、生きがいとなる環境を作り出す教室で、助成金や多くの企業などの寄付金により実施することができています。この教室に参加されている高齢者の皆さんが私たちに言ってくれます。

私たちが相手にしてくれてありがとう。靴下が片足立ちしたままはけるようになった。風邪をひかなくなった。

毎日が楽しく明日がくるのが楽しみになった。暗くなっていた性格が明るくなった。元気になり病院へいかなくなったなど。笑顔で話してくれるようになりました。

教室を始めてまだ8ヶ月程度ですが、着実に成果が表

れ、活動を継続していくことに今では大きな意味を感じています。この活動をご理解していただいた新聞や雑誌やテレビなどの広報により全国的にも広まりつつあり、問い合わせも増えてきています。

私達NPO法人児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブは、多くのひととの出会いや皆様に支えられながら活動をさせて頂いています。

本日、このような受賞の機会を頂きましたことは、ロータリークラブの皆様方の深いご厚情の賜物であると存じます。このたびの受賞を励みに、少しでも地域の役に立てるよう、全力を尽くして参りたいと思います。

今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。

.....

### ☆クラブ協議会 (年間報告)

#### ○新世代・ロータクト委員会 委員長 藤本範行君

副委員長の三原君、委員の茂木君の三人で担当し、活動してきました。

年度初めの鹿児島での地区協議会に出席して、やる気満々で指導にあたりましたが、この一年を振り返ってみると、持続的努力が足りませんでした。茂木君には随分とアクトの例会にも出て頂き、感謝しています。

RCの例会で、ロータクトの新入会員の募集のチラシを配布した後、すぐに坂田君から若い事務の女性を紹介してもらった時は、幸先のいいスタートが切れたと喜んだのですが、後が続きませんでした。会員が6名(男性4人、女性2人)では、例会も成立しないことがあり、活動も鈍ってしまいます。それでも、蚊口浜の清掃活動、宮日支局(小会議室は例会場)の清掃、レクリエーション(卓球)の実施などをやり、ライラへの参加(3人)、地区幹部研修会への出席など、最小限の事は実施できたと思う。ロータリーの例会への出席(2回)、花見会への参加(2名)など、目標のロータリーとの連携も忘れてはなかった。

来年度の桑野君、引き続きよろしくお願いします。

#### ■出席報告

出席委員 向山健一君

出席状況

会 員 数	50名
出席会員数	38名
ホーム出席率	77.55%
前々回の修正出席率	77.55%

#### ■BOX披露

親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

永田英徳君 結婚記念祝いのお返し。

図師義孝君 児湯高鍋ライフセービングスポーツクラブの皆様をお迎えして。おめでとうございます。

岩切洋君 児湯高鍋ライフセービングスポーツクラブ

の皆様をお迎えして。明倫賞おめでとうございます。

橋口清和君 米沢3日間お世話になりました。